

## 特定非営利活動法人MSキャビン

多発性硬化症 (MS) と視神経脊髄炎 (NMOSD) の患者さんとご家族のために活動しています。

独立性を強く守るため

製薬企業から寄付をいただいていません。

構成メンバーは患者と家族、そして専門家です。  
当事者と専門家の2つの視点で取り組んでいるのが  
いちばんの特徴です。

主な事業内容は次の3つです。

### ①情報誌の発行

MS/NMOSD情報誌「バナナチップス」年4回発行

一般向け書籍「多発性硬化症完全ブック」発行

一般向け書籍「視神経脊髄炎完全ブック」発行

### ②医療講演会の開催

③ホームページの運営 [www.mscabin.org](http://www.mscabin.org)

運営費は発行物による事業収入とご寄付で  
まかっています。

ぜひご協力をお願いいたします。

### 【ご寄付お振込み先】

みずほ銀行 三ノ輪支店 (普通 8060314)

トクティヒエイリカツドウハウジンMSキャビン

三井住友銀行 上野支店 (普通 7875710)

トクティヒエイリカツドウハウジンエムエスキャビン

※寄付金控除は受けられません。

## 特定非営利活動法人MSキャビン

住所：〒116-0002

東京都荒川区荒川 1-47-7-505

電話：03-5604-5042

(木・金・土 9:00~16:00)

メール：[info@mscabin.org](mailto:info@mscabin.org)

ホームページ：[www.mscabin.org](http://www.mscabin.org)



発行：2019年4月19日

N  
M  
O  
S  
D  
っ  
て  
聞  
い  
た  
こ  
と  
あ  
る  
？



特定非営利活動法人MSキャビン

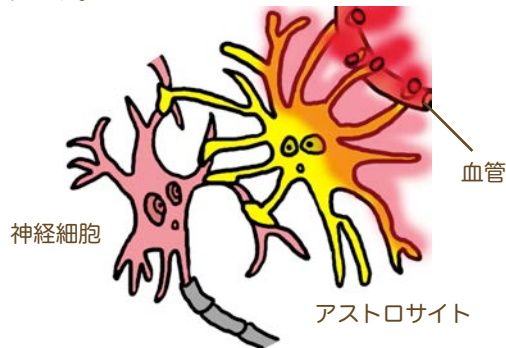


## NMOSDとは何ですか？

NMOSDは「視神経脊髄炎」という脳、脊髄、視神経の病気です。英語名は「Neuromyelitis Optica Spectrum Disorder」で「NMOSD」と呼ばれています。根治療法がない難病です。伝染病ではなく特定の遺伝子の異常は認められていません。

## どうして起こるのですか？

脳、脊髄、視神経の神経細胞は「アストロサイト」という細胞に支えられています。NMOSDは血液中の「抗アクアポリン4抗体（抗AQP4抗体）」がアストロサイトを攻撃してしまうことによって起こります。



## どんな症状があるのですか？

通常、アストロサイトが壊された部分に応じた神経症状が出てきます。アストロサイトの壊され方は人それぞれで違うので、症状の種類や程度は人によって様々ですが、視神経と脊髄の症状が多いのが特徴です。

NMOSD全体としてよく見られる症状は視力障害、運動障害、感覚障害、強い痛み、しびれ、排尿障害、しゃっくり、吐き気、意識障害などです。

## どのように診断されますか？

細かい診察と血液検査、MRI検査、髄液検査、眼科検査などをおこない、その結果を総合的に判断して診断されます。中でも抗AQP4抗体の有無を調べる血液検査は重要です。NMOSDは脳神経内科に分類される病気です。

## どんな人になるのですか？

平均発症年齢は35歳前後で、約90%が女性です。有病率には地域や人種による大きな差はみられません。ほかの自己免疫疾患を合併している人が多いです。

## どんな治療がありますか？

急性増悪期には炎症を鎮めるために副腎皮質ステロイド薬を使って治療します。改善しない時は血漿浄化療法に切り替えます。

再発予防には経口ステロイド薬や免疫抑制薬が使われますが、免疫抑制薬はNMOSDの再発予防薬としての効能は承認されていません。また服用量は人によって違います。残された症状に対しては緩和するため対症療法薬を使います。

## これからどうなるのですか？

NMOSDの経過は様々で誰にも予測できません。特徴は再発を繰り返すことですがその頻度には個人差があります。何も予防治療をしていない場合は1回の再発が重篤なことが多く、再発の度に後遺症が増えかねません。早期の予防治療が必要です。

ストレス、風邪、過労、出産などが再発の引き金になることが多いようです。病気が安定している時は適度な運動をして、休息を取ることが大切です。

## 利用できる社会資源はありますか？

NMOSDは指定難病に定められています。NMOSDと確定診断され、さらに決められた条件を満たすと医療費の一部が公費で負担されます。窓口は住所地を管轄する健康福祉センター（保健所）などです。

